



シルバー 京田辺

<第61号>

発行日
2023年(令和5年)1月1日

発行所
㈱京田辺市シルバー人材センター

発行責任者
理事長 竹村 三津雄

京都府京田辺市河原食田10番地23
TEL 0774-64-8822
FAX 0774-68-2346
<https://webc.sjc.ne.jp/kyotanabe/index>



家
甲
ま
い
に
た
ま
ま
す

おうえんして
るよ

いつも
ありがとう
ございます!!

お元気か
あはれ!

がんばれ


いもお世話
にはあこ
ありがとう!!



30周年
おめでとう
がんばってね。



がんばらねえ姿の
子供たちも学ばせて
もらいます!
ファイト!!



新たなステージへ

みんなで盛り上げよう魅力あるセンターづくり

年頭あいさつ

ポストコロナでの

積極的運営を

理事長 竹村三津雄



新年あけましておめでとござい
ます。

会員の皆様におかれましては、令
和5年の新春をご家族お揃いで、つ

新春を迎えて

高齢者施策の

推進をシルバーと共に

京田辺市長 上村崇



新年あけましておめでとござい
ます。

京田辺市シルバー人材センター会
員の皆様方におかれましては、輝か
しい新春をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

平素より市政の推進に温かいご理
解とご協力を賜っておりますことに、
厚く御礼申し上げます。
また、貴センターは一昨年に創立

つがなくお迎えのことと心からお慶
び申し上げます。

平素は、当シルバー人材センター
の事業運営や啓発活動、ボランティア
活動等のご協力、ご支援をいただ
いておりますことに、厚くお礼申し
上げます。

さて、一昨年より続いております
新型コロナウイルス感染症の影響により、シ
ルバー事業運営も停滞し、思うよう
に活動できませんでしたが、昨年9
月の第7波が少し落ち着いたら時点で、
感染予防策にも留意しつつ、3年ぶ
りに「会員互助会親睦旅行」を実施
しました。また、「グランドゴルフ
大会」の開催や「京田辺市民まつり
2022」への出席、「各地域班地
域懇談会」や「会員親睦会」等を開

30周年を迎えられ、一昨年の記念式
典をはじめ、昨年も様々な記念イベ
ントを開催されるなど、ますます会
員の皆様の絆を深めておられること
と思っております。30年という長き
に渡るご活躍は、歴代役員や会員の
皆様の並々ならぬご尽力の賜物と心
から敬意を表する次第です。

さて、昨年は、本市にとって市制
25周年という節目の年になりました。
25年前には5万人ほどの人口だった
本市も、今では7万人を超え、子育
て世代を中心に今なお増加をしてい
るところです。

その一方で、本市の高齢化率は上
昇しており、これからも一層、高齢
者の生きがいづくりや地域社会との
かかわりの場の創出が求められてい
るところです。

このような中、昨年度からは「み
んなで歩こうウォーキング」や「高
齢者生活応援事業」を、今年度は、
急速にデジタル化が進む社会に対応
した「高齢者向けスマホ講習会」を、

催し、多くの会員、市民の方々にも
ご参加いただき、久しぶりの笑顔も
見られました。今後も「ポスト・
ウイズコロナ」で、事業運営を進め
会員及び役員が一丸となって取り
組んで参りたいと考えておりますの
でご理解、ご協力、何卒よろしくお
願いいたします。

今後も地域に根ざした魅力あるセ
ンターとして活動できるよう、より
積極的な事業運営を推進して参りた
いと考えております。

皆様方には一層のご協力、ご支援
をお願いいたします。

結びにあたり皆様方にとって健康
で幸多き、平和で明るい年（兔年）
になりますことを祈念いたしまして
新年のご挨拶とさせていただきます。

貴センターの協力を得て開催し、市
民の皆様から好評をいただいている
ところで。

本市の高齢者施策の推進にあたり、
貴センター及び会員の皆様のお力添
えは欠くことのできないものとなっ
ております。今後も、世代を超えた
支え合いの担い手として、また地域
の皆様喜んでいただけるサービ
ス事業者として、これまで培ってこ
れた知識や経験を存分に発揮いた
さし、ご活躍していただけることを期
待しております。

本市としまして、今後も引き続き
き、住み慣れた地域で安心して暮ら
し続けられるまちづくりを目指して
まいりますので、皆様のご協力、お
力添えを賜りますようお願い申し上
げます。

結びにあたり、京田辺市シルバー人
材センターのますますのご発展と、
新しい年が会員の皆様にとりまして、
幸多き年となりますようご祈念申し
上げ、新年のご挨拶いたします。



本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

役員一同

【会員アンケート】集計結果のご報告

今年度、会員の皆さんを対象としてアンケート調査を実施しました。その集計結果を報告します。

皆さんから頂いた貴重なご意見、提案については内容を精査し、協議・検討を進め次年度の事業計画に反映する等、今後のセンター運営に活かしていきます。

なお、問28(その他)及び問29で沢山のご意見・提案をいただきました。詳細についてはセンターのホームページ上に掲載しています。また、事務局でもご覧頂けますので、ご確認ください。(問28.「これからのシルバー人材センターについて、もっとも必要と思われるものは」 問29.「シルバー人材センターの運営について」のご意見・ご要望など)

1. 調査の目的

会員の就業状況及びニーズの把握、センター事業への期待や要望等を把握し、今後の事業運営に活かすことを目的として実施。

2. 調査概要

- (1) 調査対象者 2022年(令和4年)5月末現在の会員 523人(男性:332 女性:191)
- (2) 調査期間 2022年(令和4年)5月20日~7月20日
- (3) 調査方法 定時総会案内時に、アンケート用紙を同封。回答は事務所へ持参、郵送又はFAXにて回答を得たもの
- (4) 回答数 175人(回答率33.5%)

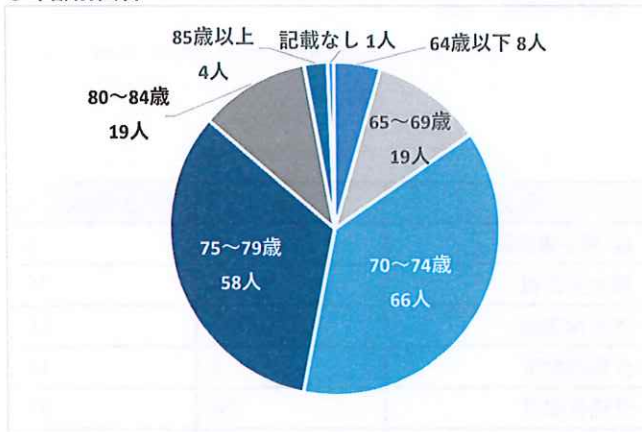
3. 調査内容及び回答結果

問1~問29の集計結果

(問28その他回答、問29回答についてはホームページ上で公開及び事務局で閲覧可能)



◎年齢別回答



◎地域班別(回収率)



総 評

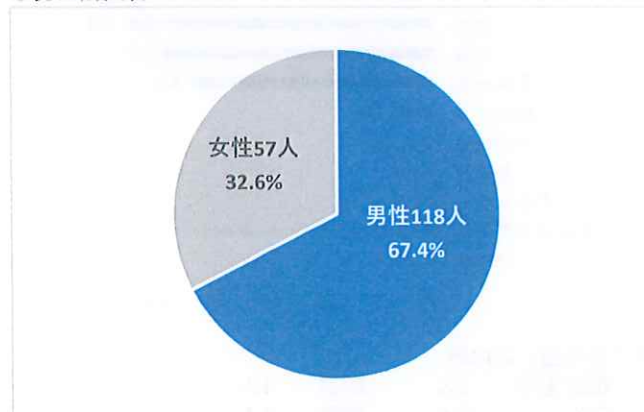
<回答状況について>

回答数:175人/523人(33.5%)

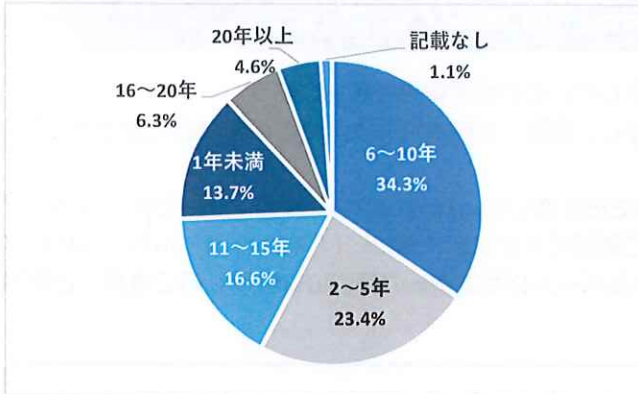
回答対象である会員数523人(男性:332人 女性:191人)のうち、回答数は175人と全体の33.5%であり、過半数を超えない結果となったものの、男女別、年齢層別、地域班別、職域班別で概ね回答数にバランスが取れたものとなった。

■会員情報について

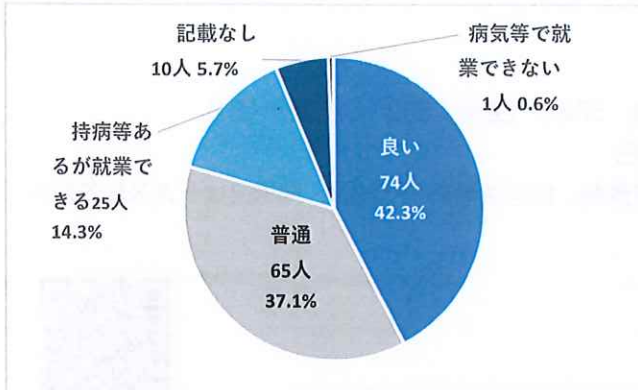
◎男女別回答



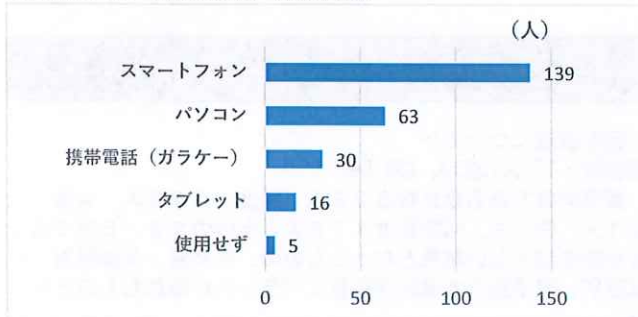
◎登録期間



◎健康状態

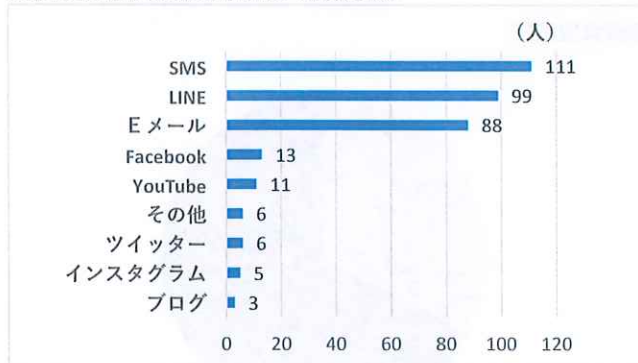


◎使用している情報機器（複数回答）



※回答総数175人中の使用率

◎利用可能な情報発信手段（複数回答）

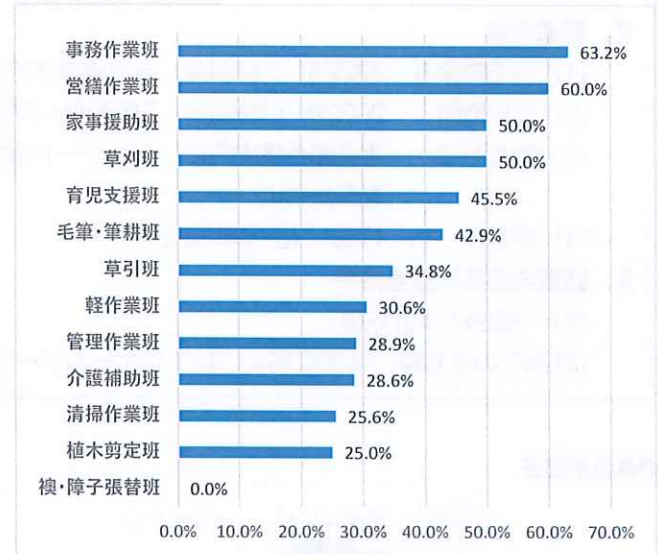


※「その他」の内訳

固定電話	2人	ZOOM	1人
FAX	2人	不明	1人

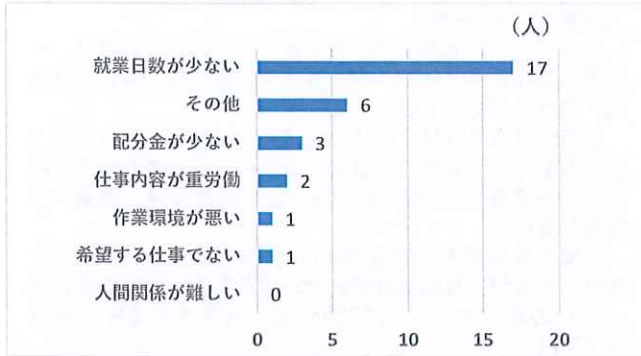
区分	人数	会員数
松井ヶ丘	15	44
大住	37	79
桃園	19	69
薪	14	51
田辺	24	72
田辺東	31	88
草内	23	68
三山木・普賢寺	12	52
計	175	523

◎職域班別（回収率）



区分	人数	会員数
複・障子張替班	0	5
植木剪定班	9	36
清掃作業班	22	86
介護補助班	4	14
管理作業班	26	90
軽作業班	56	183
草引班	8	23
毛筆・筆耕班	3	7
育児支援班	10	22
草刈班	5	10
家事援助班	9	18
営繕作業班	6	10
事務作業班	12	19
記載なし	5	0
計	175	523

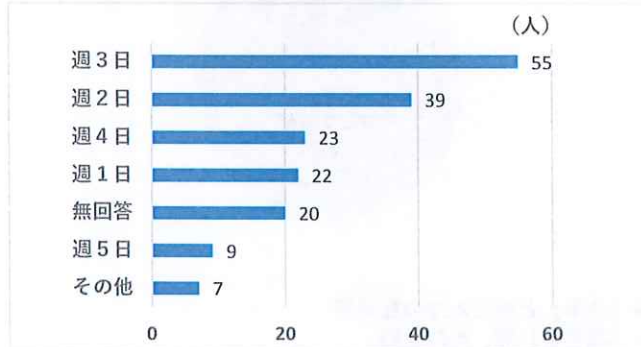
問4. 不満な理由(複数回答)



◎問3で「不満」と答えた方(10人)以外も回答あり
※「その他」の内訳

- ・常に交代できる体制づくりが必要
- ・班のルールと就業スタイルが合わない
- ・交通費が出ない(2名)
- ・スケジュールが立てにくい
- ・忙しすぎる

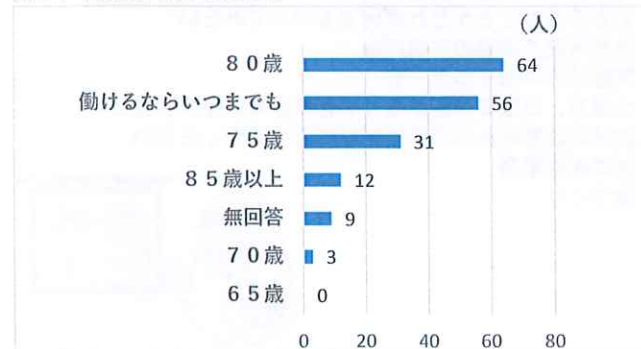
問5. 就業の希望頻度(週何日)



問6. 希望する配分金額(月額)



問7. 何歳まで働きたいか



<結果> 会員情報

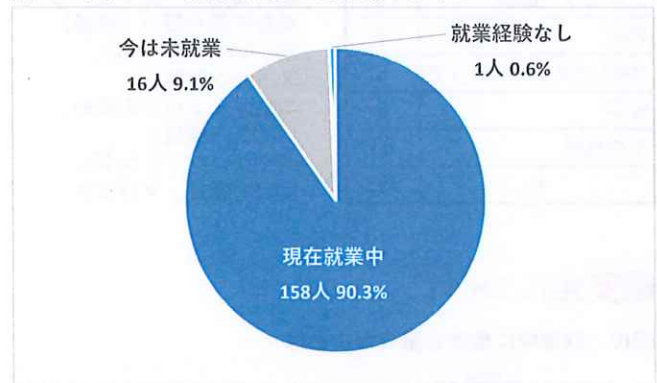
年齢別回答については、センターの平均年齢層でもある70歳から74歳の回答者が一番多くっており登録期間については、入会期間が10年以下の会員の割合が高くなっている(71.4%)。

また、会員の健康状態についても、「良い」が42.3%を占め、「普通」の37.1%と合わせると8割近くとなっている。

なお、回答者のうち79.4%にあたる139人がスマートフォンを使用しており、6割近くの方はSMS、LINEショートメールを情報発信手段として活用している。

■就業について

問1. シルバーで就業したことはありますか



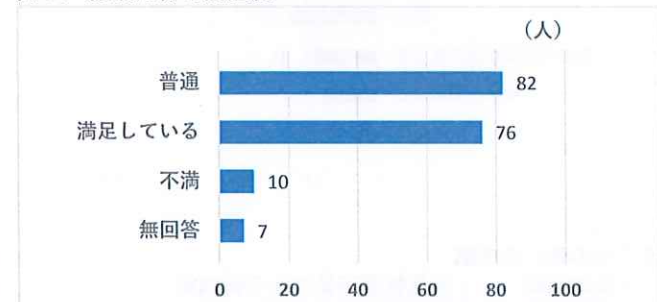
問2. 未就業の理由



※「その他」の内訳及び意見等

- ・体力にあった仕事がない
- ・職域班のルールと自分のスケジュールが合わない
- ・したい仕事はあるのだが消極的になっている
- ・SCの紹介で12年間就業 (R4.3以降未就業)

問3. 就業内容の満足度



※不満の方は問4へ

問9. 趣味・特技や余暇の過ごし方（複数回答可）

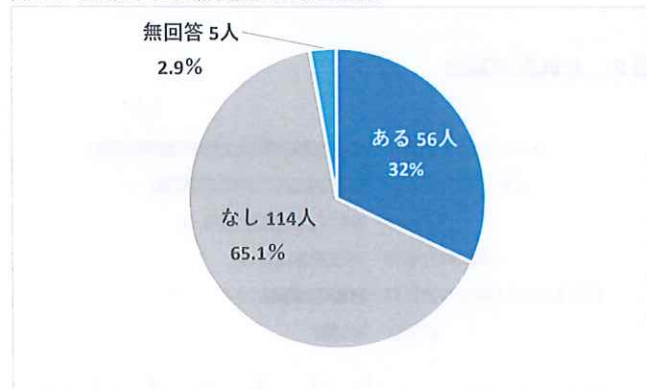
区分	人数
家庭菜園	44
ウォーキング・トレッキング	19
ゴルフ	12
グラウンドゴルフ	6
その他のスポーツ※	12
読書	12
デジタル機器活用	12
音楽鑑賞・楽器演奏	8
絵手紙・絵画	8
家事	8
手芸・編み物・縫製	7
庭いじり・園芸	8
料理	7
地域の活動・ボランティア	6
習字	6
その他※	83
計	258

※その他のスポーツ内訳
 ヨガ・マラソン・テニス・
 ボウリング・卓球・ジム

※その他の内訳
 友人との雑談（3）、
 体操教室（4）、釣り（3）、
 囲碁（3）、将棋（2）、
 コーラス（3）、
 カラオケ（2）、太極拳（3）、
 居合道（1）、木工細工（5）、
 旅行（4）、写真撮影（3）、
 買い物（2）、語学学習（2）、
 カルチャースクール（2）、
 映画、オーディオ、お茶、
 筋トレ、競馬、ゲーム、
 源氏物語（に関すること）、
 事務処理手伝い（無給）、
 週5AM仕事、水泳、
 スポーツ観戦、
 ニホンミツバチの養蜂、
 バイク（修理）、
 バイク（ツーリング）、
 ビデオ鑑賞、マジック

安全について

問10. 就業中に危険を感じたことは



◎問10「ある」場合の状況（複数回答可）



※「その他」の内訳
 ・車の運転 ・用具管理不備による転倒等
 ・作業員による街路樹剪定の飛び石
 ・通勤途上 ・刃物使用

<結果> 問1～問9

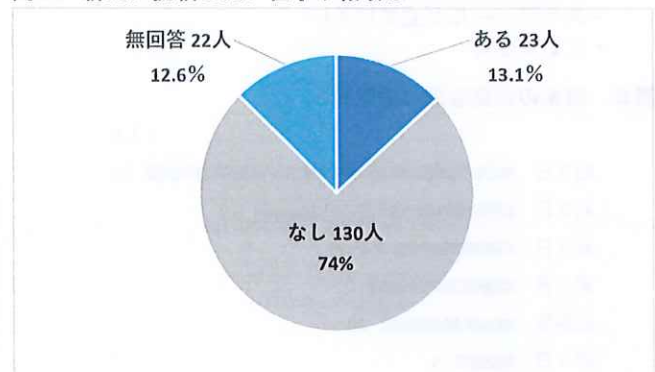
シルバーでの就業経験がある会員は99.4%にのぼり、未就業の理由としてはシルバー外での就業の他、会員の高齢化に伴う要因も出ている。

会員の就業満足度（普通：46.9%、満足している：43.4%）も高く、80歳まで及び働けるならいつまでも働きたいと考える会員が120名（68.5%）と、就業に対し積極的な会員が多い。

就業の希望頻度である週3日は全国平均値よりやや高い数値であるが、月額希望配分金3～4万円は全国平均値と概ね同等の額である。（2020年度：月平均8.9日、月額35,566円）

一方、働くことに積極的な反面、現状の仕事以外の仕事を好まない傾向が見える（74.3%）。

問8. 新たに挑戦したい仕事や職種は

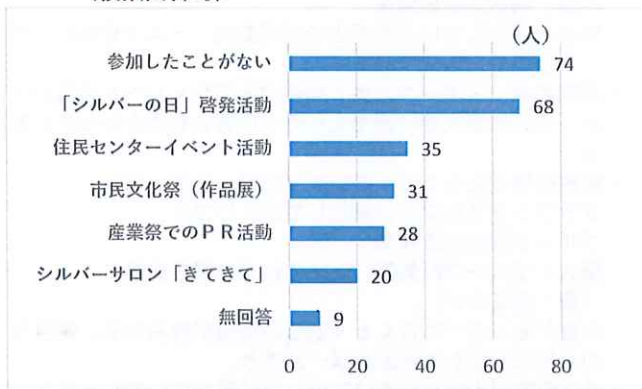


◎「ある」と答えた方の意見等

- ・「草引き」等、肉体労働
- ・植木剪定作業
- ・屋内での軽作業
- ・オレンジルームでの喫茶営業
- ・音楽に関連したもの
- ・街灯の電球交換や清掃（高所作業車使用）
- ・身体に無理のない程度の作業を用いたい
- ・高齢者援助他
- ・子供の見守り、地域の清掃
- ・自分のできる仕事があれば挑戦したい
- ・事務所内（一般企業・組合・商店）の事務処理、すべての会員の持っている資格を有効に使えるようにできないものか
- ・シルバーに無い仕事、シルバー人材センターの運営・改革、シルバー独自事業の開拓、運営
- ・スポーツジム等で体づくり・ゴルフ・グラウンドゴルフ等
- ・チラシ配布・花植え
- ・月2～3日で小さな会社の経理の決算を見る（2.3社）
- ・できそうなことがあれば何でもやってみたい
- ・統計事務や事務の下処理等
- ・同志社大学のモニター等
- ・土曜日、日曜日が暇がありすぎ日直等の仕事が欲しい
- ・派遣の仕事があれば予定が立つので紹介ください。
- ・文書作成業務
- ・物づくり



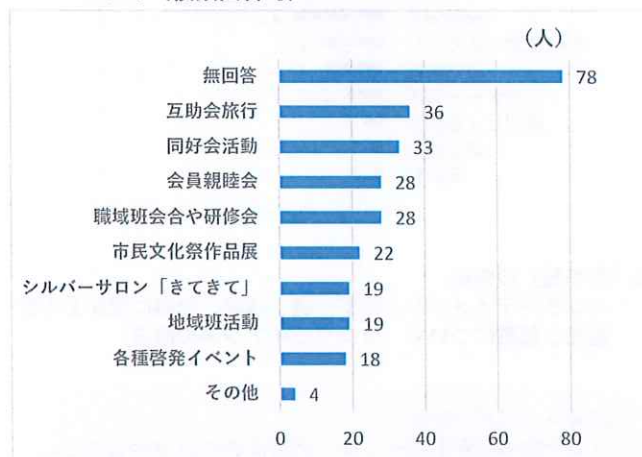
問15. 各種イベント・啓発活動への参加について (複数回答可)



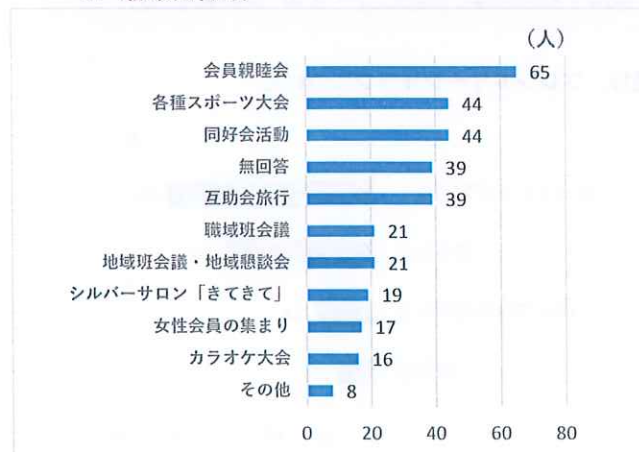
<結果> 問13~問15

地域班、職域班活動及び各種イベント・啓発活動への参加経験がない会員が約半数となっており、コロナ禍による活動停滞も影響していると思われるものの、会員の事業参画意識の向上が必須である。

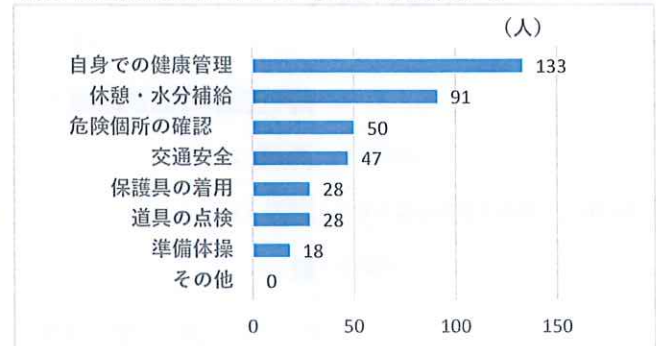
問16. 会員の交流・親睦会・イベント等への参加について (複数回答可)



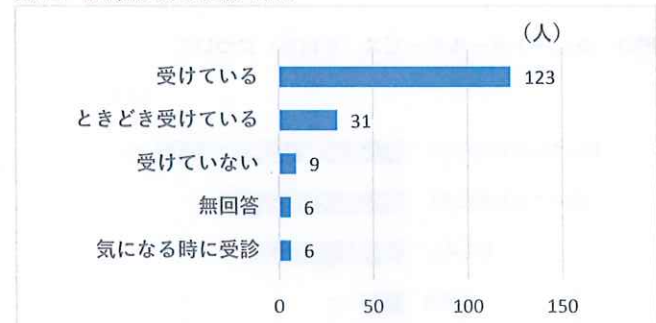
問17. 会員同士のコミュニケーションを取るためには (複数回答可)



問11. 安全就業のために行っていること (複数回答可)



問12. 健康診断の受診状況



<結果> 問10~問12

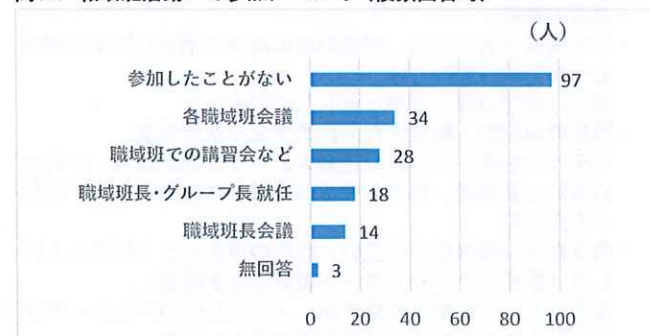
65.1%の会員が、就業中に危険を感じたことはないと回答しており、安全就業に向けた個々の意識により自己管理が徹底されていると考えられる。一方で、32%の会員が就業中に危険を感じたことがあると答えており、事故防止に向けた対応策も必要である。

■センター事業について

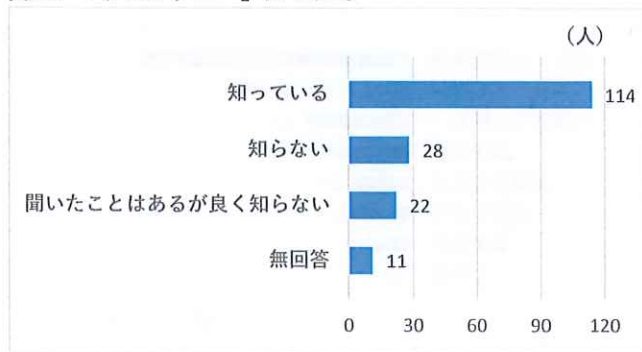
問13. 地域班活動への参加について (複数回答可)



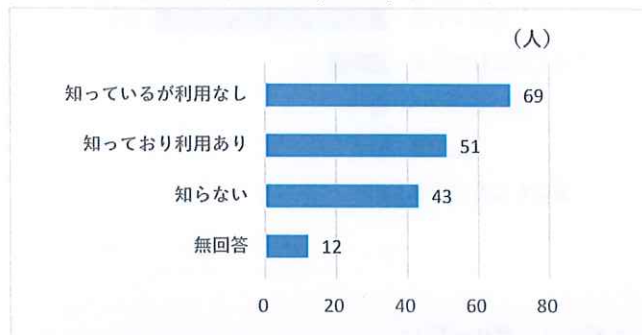
問14. 職域班活動への参加について (複数回答可)



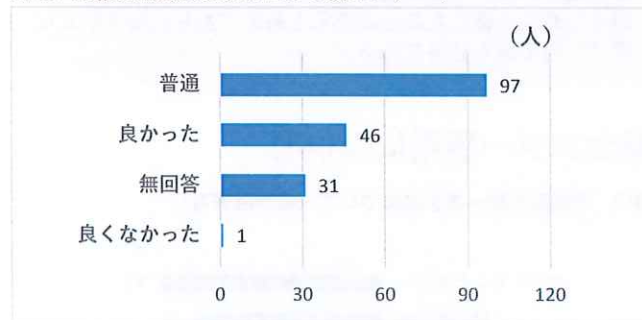
問20. 「チェブクロー」について



問21. ショートメールサービス（SMS）について



問22. 会報の感想及び取り上げて欲しいテーマ



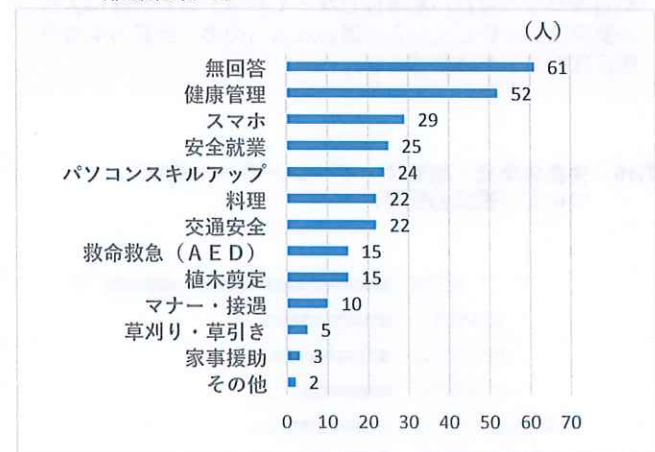
※テーマ

- ・京田辺にこだわらず他センター近隣センターの情報も。
- ・女性に対するアピールが弱い。
- ・お客様の声（クレーム・感謝等の電話から）活動の改善が目的。
- ・会員のエッセーや短歌・詩。
- ・会員の仕事の体験談・同好会参加者の感想など、職域班作業状況や豆知識。
- ・会員の訃報。
- ・女性会員はもちろん、時短料理の紹介や活動してその感想も一言を載せてみては。
- ・また、間違い探しのホッとした時間も…。
- ・投稿の誤記載、散見されるためチェックが必要。
- ・ベテラン主婦・ベテラン社会人としてこれは便利、これはお得的な豆知識、目からウロコ情報や冷凍庫をうまく利用する方法等
- ・毎月定例の情報発信は良い。会員の声をもっと掲載して欲しい（趣味紹介やセンターへの要望等を掲載）。
- ・毎月でなくても良いのですが、メリハリをつけるアイデアを考えることができれば事務所に提出します。

※「その他」の内訳及び意見

- ・囲碁、将棋大会の開催
- ・同じ仕事をしている者同士の情報交換、一人で仕事して感じる疑問や対応について
- ・各同好会、スポーツ大会では現役当時からレベルの高い方が、そのまま大きい顔でえらそうに言われるという声がある。
- ・家族を巻き込んでのイベント（夫婦・子供・孫）
- ・グラウンドゴルフ大会実行して欲しいです。
- ・グループ間の交流作業
- ・個人・グループが気軽に出来る娯楽の場を提供（例：麻雀など）。
- ・会員がセンターに行くと「新しい情報が得られる」等自分のためになるものがあれば…と思う。
- ・女性の方が入会しやすいスポーツは何かないでしょうか。女性会員の集まりの際、必ずその体操をしてからおしゃべり会や打合せ会へと流れるようにすれば。

問18. 参加したい・開催して欲しい講習会（複数回答可）



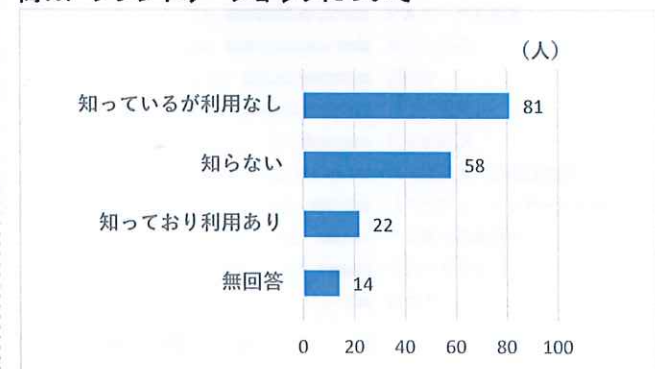
※「その他」の内訳

- ・エンターテイメント、歌や楽器、落語、仕事に繋がる内容
- ・適正な就業について（コンプライアンスの徹底）

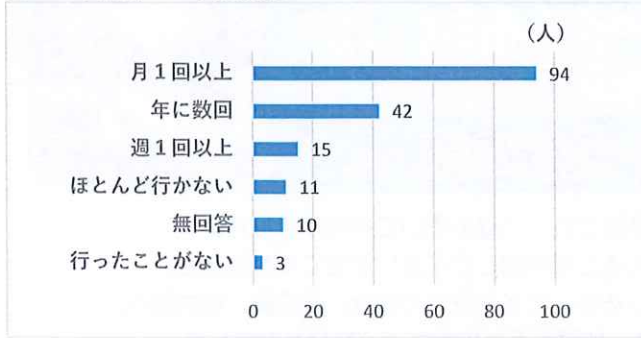
<結果> 問16～問18

コロナ禍の影響もあってか、会員間の繋がりやコミュニケーションの場を求める会員が多く、就業以外の面でセンターに求めるものも大きいと感じられる。また、就業にかかる講習会だけでなく健康やデジタル機器向けの講習会を望む声（30.3%）もある。

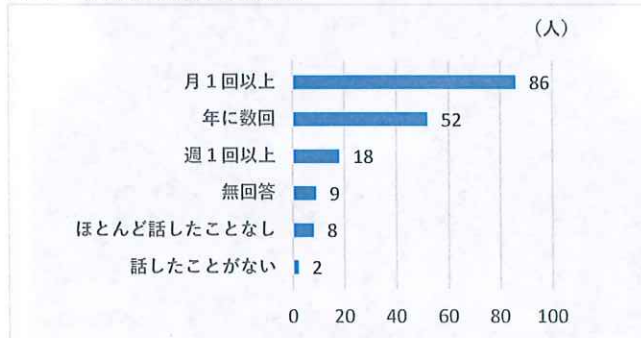
問19. フレンドリーショップについて



問26. 事務所への来所頻度



問27. 事務局職員との関わり

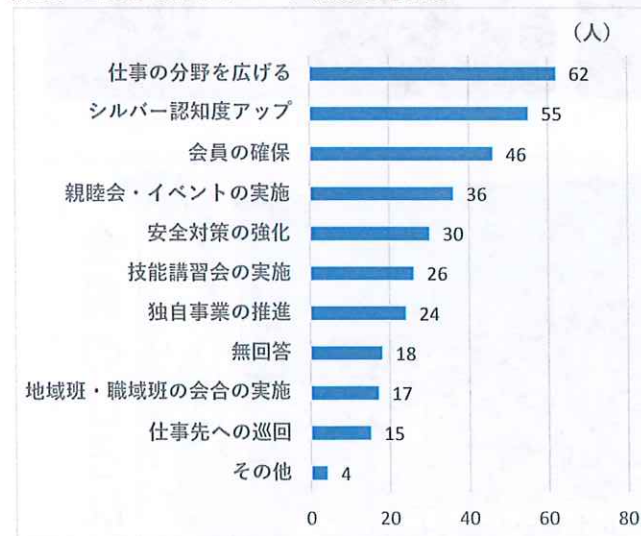


<結果> 問19~問27

会員特典である「フレンドリーショップ」や、会員拡大に向けた「奨励金制度」「夫婦会員等の会費半額制度」等、知っているが活用(利用)したことがない会員が大多数を占めており、メリットを伝えきれていない状況が読み取れる。

また、センターからの情報発信手段である会報について、どのように作られ誰が配布しているかを知らない会員もいることから、情報周知、広報の在り方についての課題が見える。

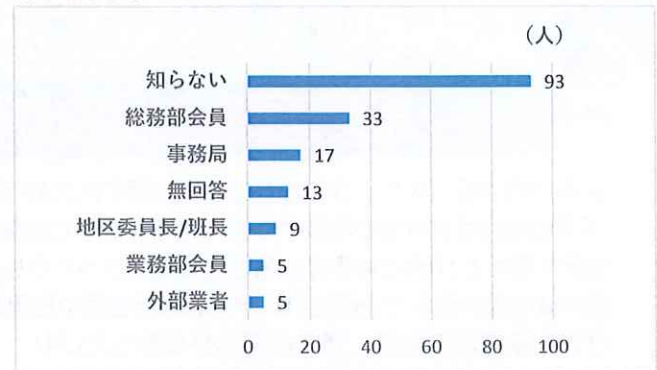
問28. これからのシルバーに必要なものは



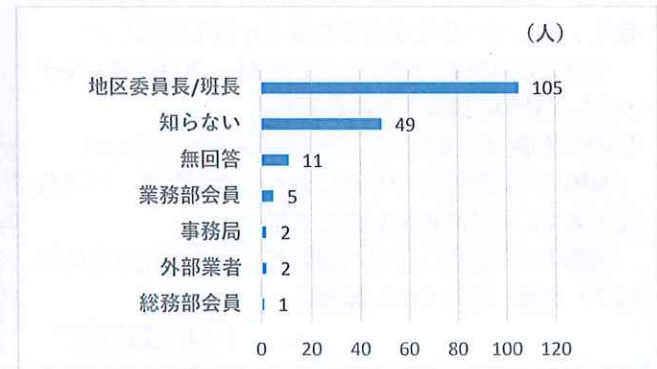
※その他の具体的意見は別途ホームページ等参照

問23. 会報の印刷・配布について

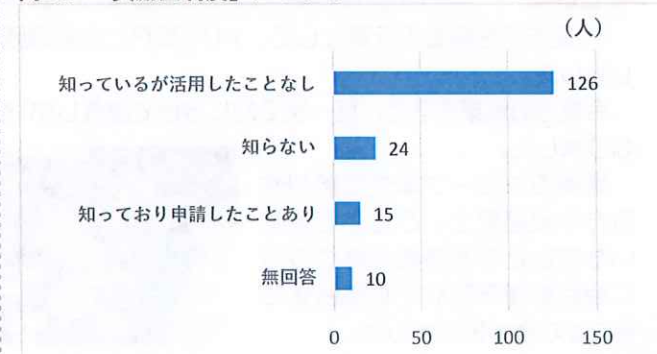
【印刷作業】



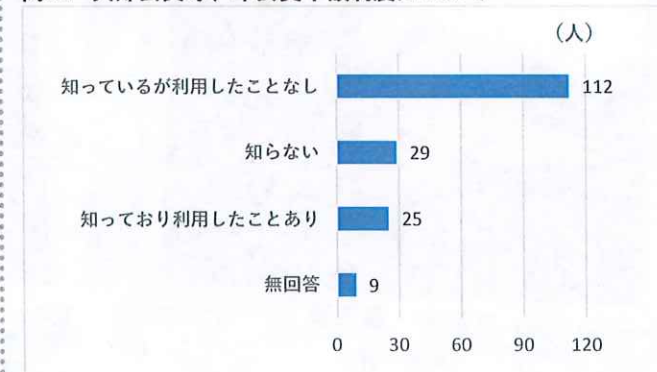
【配布作業】



問24. 「奨励金制度」について



問25. 夫婦会員等、年会費半額制度について





親睦バス旅行に参加して

～ 会員互助会親睦旅行・金沢の旅 ～



去る10月4日（火）、3年ぶりに金沢方面のバス旅行が計画され、心躍る思いで参加しました。10月の車窓はすすきの穂波やそばの花畑、そして加賀に入ると海岸線と目を楽しませてくれました。金沢に着くと10月とは思えぬ暑さと突風でびっくりしましたが、大名茶屋での昼食、その後、兼六園へ。庭内は老齢な樹木に圧倒され、手入れの行き届いた園庭は、加賀百万石の重さで心を打たれました。

ひがし茶屋街の散策、滞在時間は少なかったけれど、すっかりお土産店巡りもできました。

片道4時間の行程でしたが、自己紹介や高齢者健康〇×クイズを歩き帰り、2回も楽しく、そして心ゆくまで、おしゃべりでまぎらわすことができました。

今回のバス旅行で感心したことは、集合時間にキチッ!!と5分前に集まったことです。

日頃の仕事のたまものと「さすがシルバーさん!!」

無事に予定時刻より早めに着くことができ、バス会社の方々に心より感謝いたします。

次回のバス旅行（どこへ連れていってくださるのかな？）を楽しみにしています。

I.N（田辺地区）



初開催【会員親睦会】盛り上がりました。

30周年記念事業の行事として、11月30日に会員親睦会を企画しました。

会員方の就業も考え、昼・夜2回に分けて開催し81名の参加となりました。

職場のグループ単位で参加する方や友達同士、ひとりで参加いただいた方も時間が経つうちに会話も弾み和やかな雰囲気ですごくすることが出来ました。



会員のひろば

東福寺・通天橋

「柴家 碧」

花見山公園から鳴門大橋を望む

「柴家 碧」

おかげさまで30周年!!

記念事業也大盛況

令和3年に設立30周年を迎えた当センターですが、今年度も引き続き、各種記念事業を実施しました。
 8月9日には新聞折込チラシにて、センターにまつわるクイズやチエブクローバルーンに着せる衣装のデザイン募集、お仕事割引やグランドゴルフ大会の開催案内をさせていただきました。
 チエブクローバルーンの衣装デザインについては、設立記念事業検討委員会において応募作品のなかから最優秀作品を決定し、会員の手により衣装や小道具を作成、「市民まつり」において、お披露目と表彰式を行いました。
 2年にわたる記念事業も無事終了し、当センターは新たなステージに向け、さらに躍進してまいります。

会員向け記念品

センターにご協力いただいている「フレンドリーショップ」の【利用券】(500円×2枚)を会員向けの記念品として決定、12月上旬に全会員に送付しました。「フレンドリーショップ」制度のより一層の浸透と、地域活性化に繋がたいと考えています。



グランドゴルフ大会

10月25日開催
69名参加



チエブクローデザイン

17名応募



センタークイズ

30名応募
(30名に記念品贈呈)



お仕事割引

15件申込

絵手紙の会 作品



就業機会の拡大

市広報「ほっと京田辺」配布業務 はじまりました

「府民だより」の各個別配布業務に引き続き、京田辺市「ほっと京田辺」の配布業務を今年度10月より開始しています。60名弱の会員の皆さんの手によって市内の皆さんの手元に届けられており、様々なチラシや広報物の市内全戸配布にも対応できるようになりました。

就業している会員も、スムーズに作業が進むようにと工夫しています。



高齢者向けスマホ講習 大盛況

11月より、市から委託を受け、市内の高齢者に対し、スマートフォンの使い方講習をスタートさせました（3月まで全9回開催）。

この新規事業の講師は8名。国の施策に基づく、デジタル機器に不慣れた高齢者らのスマートフォン操作等をサポートする「デジタル推進委員」として正式に任命された方ばかりです。

「同世代の方が講師だと質問もしやすい」という参加者からの声が出ていました。



「市民まつり」(たなフエス) 啓発活動実施

去る11月5日(土)、6日(日)に開催された「市民まつり」(愛称: たなフエス)。
当センターはセンターのPR出店と会員の作品展示を行いました。

会員作品展示

市立中央公民館にて、会員の趣味や特技を活かした作品やコレクションを展示しました。12名2団体、52点の多種多様な作品が集まり、就業以外の一面を見て頂けました。



センター事業PR出店

屋外テントにおいては、啓発活動を実施しました。
来場者に対し、シルバーやチエブクローに対しての一言を依頼し、メッセージカードを作成し、お菓子のつかみどりやチエブクローとの写真撮影を楽しんでいただきました。
30周年記念事業で募集したデザイン衣装をまとったチエブクローは小さなお子さんには大人気でした。
会員による「30周年記念除菌ウエットティッシュ」の配布も実施し、シルバーの存在を知っていただく機会となりました。

京田辺市民まつり 出展者名簿	
氏名	種類
奥所 雄二郎	写真
柴家 碧	
横濱 和俊	
大木 陽子	水彩色鉛筆画
内藤 孝夫	絵画 (Sustainable Art)
保手浜 道子	絵画(油彩)
	粘土彫刻
絵手紙の会	絵手紙(講座分)
出口 キヨ子	絵画(大津絵)
本田 邦博	仏像彫刻
石田 由美子	レザークラフト
柳生 静慶	昔の古道具等
手づくりサークル	手芸品(30点)
	絵手紙
守 雅子	手芸品(編み物)
坂田 健二	絵画(水彩)



組織体制の充実強化

【地区委員長会議と地域懇談会の開催】
令和4年度は、地区委員長会議を年4回計画し、以前からの課題について協議検討しました。

① 地域班長の後任

地域班長は現在、会員の自主的な協力で48名の方が活動していますが、体調不良や退会などで欠員が生じた場合に、なり手がいない状況です。このため、地域班長選任を入会順の輪番制として、必ず経験することになりました。

② 安全啓発物品(カレンダー)の配布

例年、安全意識の高揚の為、会員から募集した安全標語入りカレンダーを地域班組織を通じ、配布しています。担当人数が多い、また、移動手段がなく配布が困難であるとの意見も多く、令和4年度は、「会員が自ら事務局へ取りに行く」方法に切り替えました。

③ インボイス制度

令和5年10月から導入されるインボイス制度について、シルバーや会員にかかる影響等の理解を深めました。

2年ぶりの各地域での懇談会は、地区委員長及び班長、各地域の担当理事の協力で開催されました。



安全就業に向けて

当センターの令和4年度の事業計画として、「安全就業」も重点項目として挙げています。令和3年度においては、傷害事故5件、賠償事故7件が発生していましたが、令和4年度は、11月末時点では、傷害事故においては0件、賠償事故4件と大幅に減少しています。今後は会員の皆さんも意識をもって「事故ゼロ」の目標を目指していただきたいと思います。

事故ゼロを目標に!

安全パトロール強化実施継続中
業務部会では重点項目である事故ゼロに向けた「安全就業」への取り組みとして、今年度も安全パトロールを強化し、定期的(月1回)な就業現場の巡回を継続実施しています。

安全な就業はシルバーでの仕事の基本です。会員一人ひとりが安全意識を強く持ち、日々の就業に取り組んでいきたいと思います。



令和4年安全パトロール実施経過 (11月末時点)

Table with 2 columns: 実施月 (Implementation Month) and 実施現場・職域 (Implementation Site/Work Area). Rows list activities from April to November, such as '清掃 (野外活動センター・水道部庁舎・社会福祉センター)' and '植木剪定 (一般家庭2ヶ所)'.

入会時にお渡ししている緊急連絡先カードについては、安全パトロールで毎月巡回する際、確認すると皆さん身につけています(11月末時点)。まだ不携帯の方は、会員登録の裏側に氏名及び血液型、緊急連絡先などを記入して作業中必ず携帯するようにお願いします。(所定の用紙は事務局でお渡しできます。必要な方は申し出て下さい) 安全適正就業担当理事 横濱 和俊

熱中症対策に 空調作業服!

当センターでは令和4年度に、屋外作業が中心の職域班(営繕作業班・植木剪定班・草刈班・草刈班)を対象に空調作業服(ベスタタイプ)の購入に係る一部助成を行い、22名の会員が購入されました。令和5年度は、その対象範囲を広げていくことを検討しています。



安全就業 マニュアルの作成を!

職域班別に就業の実施や停止などの指針及び安全パトロール実施時のチェック体制を整えることを目的に職域班別の「安全就業マニュアル」の作成をお願いします。植木剪定班、草引き班ではマニュアルを作成し活用されています。会員自らの発案・作成で安全意識の高揚に繋がります。未作成の職域班は作成をお願いします。

植木剪定講習会 (ポランティア)開催

技術の向上や会員同士の親睦、地域貢献を目的に市立田辺小学校を会場として植木剪定講習会を開催しました。当日は植木剪定班を中心に29名が参加しました。また、八幡市及び久御山町シルバー人材センターの会員の方も参加され交流を深めることができました。



安全チエックシートの活用

植木剪定班では安全就業マニュアルに基づいた、安全チエックシートを作成し活用しています。7月から継続的に実施することにより会員の安全意識の高揚を図っています。

京都府シルバー人材センター連合会 安全パトロール実施

去る11月22日に京都府シルバー人材センター連合会における安全就業パトロールが実施されました。今年度は南部地域のパトロール対象が京田辺市ということで、市営大住園敷地内の機械除草作業を府内センターの8名の安全適正就業委員が視察。パトロール後は当センターの安全就業内容の紹介と意見交換を行いました。



1. 賠償事故 令和4年度 事故発生状況 令和4年11月30日

Table with 10 columns: 発生日 (Occurrence Date), 性別 (Gender), 年齢 (Age), 発生時刻 (Occurrence Time), 仕事内容 (Job Content), 状況名 (Situation Name), 事故後の対応・今後の対策 (会員の声) (Response/Countermeasures (Member's Voice)), 賠償金額 (Compensation Amount), 保険適用額 (Insurance Applicable Amount), 会員負担額 (Member Contribution Amount), センター負担額 (Center Contribution Amount). It lists 4 incidents involving property damage and personal injury during safety patrols.

京田辺市に対する補助金要望行動

シルバー人材センターは国・京都府及び京田辺市からの補助金により運営されています。

センターが今後も健全な事業運営が図れるよう、安定した補助金交付を要望するべく、去る9月27日及び12月15日に、当センター理事長及び副理事長が京田辺市長を訪問し、要望書を提出しました。



清掃ボランティア お疲れ様でした! ～「シルバーの日」啓発活動～

去る10月21日（金）に「シルバーの日」の取り組みとして、市内主要4駅（JR松井山手駅・JR大住駅・近鉄新田辺駅・近鉄三山木駅）周辺での清掃ボランティア活動及び啓発リーフレットの配布を実施しました。

事前の各地域班の地区委員長・地域班長の皆さんの声掛けのおかげで、集まった会員は135名（去年は78名）となり、効果的な啓発活動ができたと考えています。ご協力いただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。



人権意識の向上に向けて

～人権研修受講～

シルバー人材センターは就業を通じ、発注者、市民の皆様や会員をはじめ、地域の多くの方と関わりあっています。そのため、会員、役職員一人ひとりが個々の人権を尊重すると共に、就業マナーや安全に配慮して作業を進める必要があり、今年度、人権意識の向上を図るため、研修会等に参加しました。

- ◎「人権研修」（京都府及び京シ連共催）受講
7月15日（文化パルク城陽）
職員3名及び役員・地域班長・職域班長16名：出席
- ◎京都府企業内人権問題啓発セミナー受講
8月29日（ロームシアター京都） 職員1名：出席
- ◎人権啓発DVD視聴
10月20日（オレンジルーム）
役員14名に対しDVD視聴による人権研修実施

編集後記

会員の皆様には輝かしい新春を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。昨年、令和3・4両年度にわたっての当センター設立30周年記念の大きな事業も、滞りなく終えることができました。

また、各地域班において懇談会が行われ、令和5年度から導入されるインボイス制度対応についての学習と、当センターの組織体制の充実と強化を図るために、過去からの課題であった各地区の地域班長の選任問題と、安全就業啓発物品であるカレンダーの配布のあり方にかかわる問題の解決に向けての一定の方向性が決まりました。今後は会員の皆様のご協力と、ご理解を得ながら実施に向けて活動することになりました。

総務部会においては、昨年実施されたアンケートに寄せられたご意見「理事会での議題・検討事項等の開示を」をもとに、機関紙「シルバー人材だより」で積極的かつスピード感をもちて発信することとし、さらには会員の皆様からの投稿にも、紙面を割り振るなどの工夫をこらし、更に充実した機関紙にしたいと考えています。

（総務部会）

表紙解説

シルバー人材センターのキャラクター「チエブクロー」、地域での認知度もかなり上がってきており、「市民まつり」でもひととき目立っていました。市民の皆様からいただいた沢山の励ましのメッセージにパワーをいただきました。設立30周年を契機として、より一層魅力あるセンターとなるべく、会員・役職員が一丸となって新たなステージに向かって進んでいきます。